



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月30日
上場取引所 東

上場会社名 NECキャピタルソリューション株式会社
 コード番号 8793 URL <https://www.necap.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今関 智雄
 問合せ先責任者 (役職名) コミュニケーション部長 (氏名) 児玉 誠一郎 (TEL) 03(6720)8400
 四半期報告書提出予定日 2020年8月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・取引金融機関向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	52,660	△10.4	862	△82.7	924	△82.4	592	△76.8
2020年3月期第1四半期	58,796	7.5	4,989	45.6	5,243	71.5	2,551	27.6

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 462百万円(△89.6%) 2020年3月期第1四半期 4,443百万円(149.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	27.52	—
2020年3月期第1四半期	118.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	964,777	106,264	9.6
2020年3月期	997,510	105,248	9.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 92,593百万円 2020年3月期 92,725百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	220,000	△0.3	6,500	△21.6	6,500	△28.5	4,000	△21.8	185.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	21,533,400株	2020年3月期	21,533,400株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	507株	2020年3月期	507株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	21,532,893株	2020年3月期1Q	21,532,906株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）新型コロナウイルス感染拡大に関するリスク情報・（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

- ・四半期決算短信補足説明資料は、当社ホームページで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 新型コロナウイルス感染拡大に関するリスク情報	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	9
(1) セグメント別の状況	9
(2) 営業資産残高	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言の発令により、景況感、実態共に急速に悪化しました。緊急事態宣言は5月下旬に解除されたものの、都道府県をまたぐ国内の移動制限は6月まで継続されました。そうした状況下において、資金繰りに行き詰まる中小企業支援や全国民への特別定額給付金支給などの政策が実施されました。これらの諸施策は一定程度景気の下支えになると考えられるものの、国内外の状況に鑑みると、我が国の経済活動の停滞は今しばらく継続するものと想定されます。

当社グループの属するリース業界においては、業界全体の2020年6月累計のリース取扱高は、前年同期比13.1%減の1兆625億円と、前年同期を下回る状況となっております。(出典：公益社団法人リース事業協会「リース統計」)

このような状況下において、当社賃貸・割賦事業では、契約実行高では前年同期比4.3%減、成約高は同15.3%減と、共に前年割れとなりました。これは前年同期にWindows10の入替需要を背景とした情報通信機器の大幅な増加や大型のベンダーファイナンス案件の獲得等があったことによるものであります。一方で、2017年度、2018年度の第1四半期対比では、契約実行高、成約高共に両年度を上回る水準となっており、前年比での落ち込みは、主に前年同期の特需に起因するものと考えております。

ファイナンス事業においては、主に短期の貸付であるファクタリングの減少により、契約実行高、成約高共に前年同期を下回る結果となりました。これは主に、顧客の売掛債権等の減少に伴い、ファクタリングの対象となる債権残高が減少したことによるものであります。

リサ事業においては、前年同期にファンドによる大型の営業投資有価証券や販売用不動産の売却等を計上したことにより、売上高、営業利益共に前年同期を下回る結果となりました。

また、その他の事業においては、前年同期に大型の案件を計上したことから売上高は減少しているものの、営業損失はほぼ前年同期並みとなりました。

経営成績は、リサ事業において前年同期にファンドによる大型の営業投資有価証券や販売用不動産の売却等を計上したことから、売上高、売上総利益共に前年同期を下回りました。また、新型コロナウイルス感染拡大の影響により与信費用の計上を行ったこと等から販売費及び一般管理費が増加し、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益についても前年同期を下回る結果となりました。

以上により、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高526億60百万円(前年同期比10.4%減)、営業利益8億62百万円(同82.7%減)、経常利益9億24百万円(同82.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益5億92百万円(同76.8%減)となりました。

セグメントごとの業績を示すと、次のとおりであります。

①賃貸・割賦事業

賃貸・割賦事業の売上高は、前年同期比11.6%増の469億6百万円となったものの、営業利益は販売費及び一般管理費の増加等により、前年同期比2億4百万円減少し8億70百万円となりました。

②ファイナンス事業

ファイナンス事業の売上高は、金利収益の減少等により前年同期比13.7%減の14億5百万円となり、営業利益は販売費及び一般管理費の増加等により、前年同期比5億36百万円減少し2億90百万円となりました。

③リサ事業

リサ事業の売上高は、前年同期にファンドによる大型の営業投資有価証券の売却や販売用不動産の売却があったことから前年同期比87.4%減の14億31百万円となり、営業利益は前年同期比33億54百万円減少し2億63百万円となりました。

④その他の事業

その他の事業の売上高は、商品売上の減少等により前年同期比23.7%減の29億27百万円となり、営業損失は販売費及び一般管理費の増加等により、前年同期比18百万円悪化し1億10百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて327億33百万円減少し、9,647億77百万円となりました。主な要因としては、営業投資有価証券が23億82百万円増加したものの、営業貸付金が162億64百万円、リース債権及びリース投資資産が124億42百万円、その他流動資産が64億12百万円減少したことによります。

負債は、前連結会計年度末に比べて337億49百万円減少し、8,585億12百万円となりました。主な要因としては、短期借入金が452億61百万円増加したものの、コマーシャル・ペーパーが660億円、買掛金が96億25百万円、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が39億71百万円減少したことによります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて10億15百万円増加し、1,062億64百万円となりました。主な要因としては、非支配株主持分が11億47百万円増加したことによります。

(3) 新型コロナウイルス感染拡大に関するリスク情報

2020年1月下旬以降の国内外の感染拡大による個人消費や企業活動の停滞に伴い、新規リース取扱高及び新規ファイナンス取扱高の減少、与信コストの増加、資金調達コストの増加、為替変動幅の拡大などが懸念されます。

5月下旬の緊急事態宣言解除に伴い、国内経済活動は再始動に向かってはいるものの、東京における新規感染者の増加等、依然、予断を許さない状況が続いており、今後の動向について注視が必要と考えています。また、当社社員が感染した場合のBCP対応によって、企業活動の水準が必要最低限にならざるを得なくなった場合、経営成績全般に影響を及ぼす可能性があると考えています。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う影響の合理的な算定が困難であったため、2020年4月28日付の「2020年3月期 決算短信」において2021年3月期の連結業績予想を未定としておりました。また本来ならば、「2020年3月期 決算短信」と同時に予定しておりました「中期計画2020」についても公表を延期しておりました。

しかしながら、全国に発令されていた緊急事態宣言が解除されたことや政府や日本銀行の諸施策の継続的な実行が一定程度景気の下支えになると想定されることなどから、当社グループが現時点で入手可能な情報や予測に基づき、2021年3月期の通期の連結業績予想、並びに「中期計画2020」の目標値を公表するものであります。

2021年3月期の連結業績予想は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う影響等によるファンドのイグジット収益の減少や与信コストの増加等を織り込み、売上高2,200億円（前期比0.3%減）、営業利益65億円（同21.6%減）経常利益65億円（同28.5%減）、親会社株主に帰属する当期純利益40億円（同21.8%減）とすることにいたしました。

なお配当予想につきましては、4月に公表した、1株当たり年間60円の配当（うち中間配当30円）からの変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	43,339	42,515
割賦債権	29,545	28,867
リース債権及びリース投資資産	483,505	471,062
貸貸料等未収入金	22,607	23,702
営業貸付金	245,934	229,669
買取債権	10,640	10,709
営業投資有価証券	14,097	16,479
販売用不動産	16,496	16,523
仕掛販売用不動産	500	501
その他	19,044	12,631
貸倒引当金	△6,067	△6,487
流動資産合計	879,642	846,175
固定資産		
有形固定資産		
貸貸資産	55,673	56,483
社用資産	5,199	5,109
有形固定資産合計	60,873	61,593
無形固定資産		
貸貸資産	1,311	1,290
のれん	1,278	1,006
その他	2,075	2,037
無形固定資産合計	4,664	4,335
投資その他の資産		
投資有価証券	42,480	42,629
その他	12,375	12,693
貸倒引当金	△2,526	△2,649
投資その他の資産合計	52,330	52,672
固定資産合計	117,868	118,601
資産合計	997,510	964,777

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	682	706
買掛金	15,907	6,282
短期借入金	37,069	82,331
1年内返済予定の長期借入金	105,376	107,040
コマーシャル・ペーパー	256,000	190,000
債権流動化に伴う支払債務	3,353	3,272
未払法人税等	955	216
賞与引当金	697	510
その他	23,521	25,684
流動負債合計	443,565	416,044
固定負債		
社債	90,000	90,000
長期借入金	344,143	338,507
債権流動化に伴う長期支払債務	5,325	4,521
退職給付に係る負債	2,094	2,113
その他	7,134	7,326
固定負債合計	448,697	442,468
負債合計	892,262	858,512
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,776	3,776
資本剰余金	4,645	4,645
利益剰余金	83,981	83,928
自己株式	△0	△0
株主資本合計	92,403	92,350
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	465	427
繰延ヘッジ損益	△143	△174
為替換算調整勘定	54	31
退職給付に係る調整累計額	△54	△41
その他の包括利益累計額合計	321	243
非支配株主持分	12,523	13,670
純資産合計	105,248	106,264
負債純資産合計	997,510	964,777

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	58,796	52,660
売上原価	49,506	46,954
売上総利益	9,290	5,705
販売費及び一般管理費	4,300	4,843
営業利益	4,989	862
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	40	32
持分法による投資利益	1	8
為替差益	197	73
投資事業組合等投資利益	23	0
その他	1	12
営業外収益合計	268	130
営業外費用		
支払利息	4	4
投資事業組合等投資損失	4	53
その他	5	10
営業外費用合計	14	68
経常利益	5,243	924
税金等調整前四半期純利益	5,243	924
法人税、住民税及び事業税	483	519
法人税等調整額	144	△139
法人税等合計	628	380
四半期純利益	4,614	543
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	2,063	△49
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,551	592

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
四半期純利益	4,614	543
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	△23
繰延ヘッジ損益	△74	△36
為替換算調整勘定	△63	△25
退職給付に係る調整額	1	13
持分法適用会社に対する持分相当額	△38	△9
その他の包括利益合計	△171	△80
四半期包括利益	4,443	462
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,379	514
非支配株主に係る四半期包括利益	2,063	△51

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	賃貸・割賦 事業	ファイナン ス事業	リサ事業	その他の 事業	計		
売上高	42,028	1,628	11,319	3,836	58,812	△16	58,796
セグメント利益 又は損失(△)	1,074	827	3,618	△92	5,428	△439	4,989

(注) 売上高の調整額△16百万円は、主にセグメント間取引による相殺額であります。また、セグメント利益又は損失の調整額△439百万円は、セグメント利益又は損失と四半期連結損益計算書の営業利益との差額であり、主に各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	賃貸・割賦 事業	ファイナン ス事業	リサ事業	その他の 事業	計		
売上高	46,906	1,405	1,431	2,927	52,671	△10	52,660
セグメント利益 又は損失(△)	870	290	263	△110	1,314	△452	862

(注) 売上高の調整額△10百万円は、主にセグメント間取引による相殺額であります。また、セグメント利益又は損失の調整額△452百万円は、セグメント利益又は損失と四半期連結損益計算書の営業利益との差額であり、主に各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. その他

(1) セグメント別の状況

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

(単位:百万円)

セグメントの名称	売上高	売上原価	差引利益	資金原価	売上総利益	販売費及び一般管理費	営業損益
貸貸・割賦事業	42,028	38,450	3,578	729	2,848	1,773	1,074
ファイナンス事業	1,628	148	1,480	307	1,172	345	827
リサ事業	11,319	6,380	4,938	105	4,833	1,214	3,618
その他の事業	3,836	3,369	466	18	448	540	△92
調整	△16	△3	△12	—	△12	426	△439
合計	58,796	48,344	10,451	1,161	9,290	4,300	4,989

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

(単位:百万円)

セグメントの名称	売上高	売上原価	差引利益	資金原価	売上総利益	販売費及び一般管理費	営業損益
貸貸・割賦事業	46,906	43,409	3,497	647	2,849	1,979	870
ファイナンス事業	1,405	3	1,402	249	1,152	861	290
リサ事業	1,431	57	1,373	153	1,220	956	263
その他の事業	2,927	2,417	509	19	490	601	△110
調整	△10	△3	△7	—	△7	444	△452
合計	52,660	45,884	6,776	1,070	5,705	4,843	862

(注) 1. セグメントの区分は、主な営業取引の種類により区分しております。

2. 各セグメントの主要品目は以下のとおりであります。

- ①貸貸・割賦事業……情報・事務用機器、産業・土木・建設機械等の貸貸(リース・レンタル)及び割賦販売業務等
- ②ファイナンス事業…金銭の貸付業務、ファクタリング業務及び営業目的の収益を得るために所有する有価証券の投資業務等
- ③リサ事業……………株式会社リサ・パートナーズが行っている企業投資、債権投資、不動産、ファイナンス及びアドバイザー業務
- ④その他の事業……………物品売買、貸貸取引の満了・中途解約に伴う物件売却、手数料取引、ベンチャー企業向け投資、ヘルスケア関連及び太陽光発電売電業務等

(2) 営業資産残高

セグメントの名称	前第1四半期 連結会計期間 (2019年6月30日)		当第1四半期 連結会計期間 (2020年6月30日)		増減 金額(百万円)	(参考) 前連結会計年度 (2020年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)		金額(百万円)	構成比(%)
貸貸・割賦事業	501,468	60.8	557,704	63.9	56,235	570,035	63.5
ファイナンス事業	266,648	32.3	241,265	27.7	△25,382	258,092	28.7
リサ事業	53,849	6.5	65,488	7.5	11,638	62,644	7.0
その他の事業	3,071	0.4	7,563	0.9	4,492	7,497	0.8
合計	825,038	100.0	872,022	100.0	46,983	898,270	100.0

(注) 当第1四半期連結会計期間におけるリサ事業の営業資産残高の内訳は、営業貸付金が9,016百万円、買取債権が10,709百万円、営業投資有価証券が14,155百万円、販売用不動産が11,282百万円、投資有価証券が20,322百万円となっております。